

LINEヤフー回答（別紙）

【Yahoo!ニュースコメント欄/Yahoo!知恵袋】

6 偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について	Yahoo!ニュースコメント欄	Yahoo!知恵袋
<p>Q 6 - 1</p> <p>2022年中及び2023年中それぞれに関する（※1）次の20点）として把握している数字があれば、御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 別の期間の数字のみ回答可能な場合は、期間を明示した上で当該数字を御教示下さい。</p> <p>※2 可能であれば、対象偽・誤情報の類型別（Q 3 - 1（1）参照）、モデレーション等の方法別（同（3）参照）の数字も併せて御教示下さい。また、可能であれば、（9）～（12）については通報主体別（Q 5 - 1（2）参照）、（18）・（19）については発信者（投稿者）の類型別の数字も併せて御教示下さい。</p> <p>（1）対象偽・誤情報（※）についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>※ Q 4 - 1 のとおり、対象偽・誤情報は「日本国内において流通するもの」に限りますが、対象偽・誤情報に関する数字を把握していない場合で、何らかの推計値や、対象偽・誤情報に関する数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どのような数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（2）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段のみによって検知・対応した件数</p> <p>（3）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段と人間の手を組み合わせてモデレーション等を実施した（第三者通報への対応過程でAIその他の機械的手段を利用した場合を含む）件数</p> <p>（4）上記（2）（3）のうち、AIその他の機械的手段による判断結果に誤りがあることが事後的に判明した（上記（3）において人間の手によって補正された場合を含む）件数</p> <p>（5）上記（1）のうち、ファクトチェック機関の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（6）上記（1）のうち、マスメディアの意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（7）上記（1）のうち、上記（5）（6）以外の外部有識者・団体の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（8）上記（5）～（7）のうち、ファクトチェック機関、マスメディアその他の外部有識者・団体の意見等に誤りがあることが事後的に判明した件数</p> <p>（9）対象偽・誤情報に関する日本語による（※）第三者通報の総数</p> <p>※ 日本語による第三者通報の件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい（推計でもかまいません）。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（10）上記（9）の第三者通報を契機として対象偽・誤情報についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>（11）上記（9）の第三者通報を受け付けてからモデレーション等を実施するまで（モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（12）上記（9）のうち、モデレーション等の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあった件数</p> <p>（13）Q 4 - 2 の窓口への対象偽・誤情報に関する発信者（投稿者）からの日本語による（※）苦情・不服申立て件数</p> <p>※ 日本語による苦情・不服申立て件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい（推計でもかまいません）。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（14）Q 4 - 2 の窓口以外を通じた対象偽・誤情報に関する発信者（投稿者）からの日本語による苦情・不服申立ての件数</p> <p>（15）上記（13）（14）のうち、当該苦情・不服申立てに基づき、問題となったモデレーション等を撤回した件数</p> <p>（16）上記（13）（14）の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで（撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（17）上記（13）（14）のうち、Q 4 - 3（7）の再審査要求があった件数</p> <p>（18）上記（13）（14）のうち、Q 4 - 3（8）の類型に該当する特定の発信者（投稿者）による苦情・不服申立ての件数</p> <p>（19）上記（18）の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで（撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（20）モデレーション等の有無・内容に関し、発信者（投稿者）、通報者との間で、訴訟・仲裁・調停など裁判所等の外部紛争解決機関が関与する手続に発展した件数</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】※数値は精査中のものです</p> <p>（1）「明らかな偽情報」の項目で投稿削除した件数</p> <p>22年度_偽情報の削除数：1,760件 （集計期間：22年4月～23年3月）</p> <p>23年度_偽情報の削除数：848件 （集計期間：23年4月～23年12月）</p> <p>（2）該当なし（偽情報・誤情報に関して、AIその他機械的手段での「検知」「削除」は実施していません。）</p> <p>（3）</p> <p>・22年度_偽情報の削除数：438件 （集計期間：22年4月～23年3月）</p> <p>・23年度_偽情報の削除数：514件 （集計期間：23年4月～23年12月）</p> <p>※CSで利用しているAIで検知（偽情報に限らない）し、偽情報項目で削除した件数</p> <p>（4）（2）：偽情報を理由とした削除等で、申立てがあり、投稿を復活させた件数は0件</p> <p>（3）：削除済みコメントを全件チェックすることは困難なため算出不可</p> <p>（5）・（6）該当なし</p> <p>（7）ニュースコメントにおいては、コロナ関連情報について厚労省のQ&Aサイトをファクトチェック情報として扱い、削除対象と定めています（件数は1で回答したすべて）</p> <p>（8）現時点では、ありません</p> <p>（9）「明らかな偽情報」項目を選択して違反報告された件数を集計することが困難</p> <p>※違反申告はあくまで端緒情報として用いられるものであり、その内容や理由について必ずしも正確性が担保されていない場合もあることから、偽・誤情報に限らず申告理由についての集計を行っていません。</p> <p>（10）（9）の削除申告を契機にした件数のみを抽出することはできません。削除件数については（Q6-1）の通り。</p> <p>（11）作業上の目安を設定した上で事案に応じた対応を行っておりますが、特に外部公表はしておりません。</p> <p>（12）違反報告はYahoo! JAPAN ID（以下YID）でのログインが不要で制限なく受け付けている。他方、不服申し立て等の問い合わせに関してはYIDのログインが必須のところ、違反報告申告者との照会を行っていないため同一人物からの改めてのお問合せかどうかについては算出ができない</p> <p>（13）6件</p> <p>（14）0件</p> <p>（15）偽情報を理由として実施したモデレーションにつき、撤回した件数は0件</p> <p>（18）0件</p> <p>（16）（17）（19）（20）該当なし</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】※数値は精査中のものです</p> <p>（1）451件（2023年7月～2023年12月）</p> <p>（2）該当なし（偽情報・誤情報に関して、AIその他機械的手段での「検知」「削除」は実施していません。）</p> <p>（3）明らかな偽情報に関する投稿として削除された投稿の件数：約30件（22年3月）</p> <p>（4）～（6）該当なし</p> <p>（7）451件（2023年7月～2023年12月）</p> <p>※ファクトチェック機関との連携</p> <p>現時点でファクトチェック機関からの申告受付実績はないが、必要に応じて速やかな違反投稿の確認が行えるよう、体制の在り方について検討を行っている。</p> <p>（8）該当なし</p> <p>（9）算出困難（違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため）</p> <p>※違反申告はあくまで端緒情報として用いられるものであり、その内容や理由について必ずしも正確性が担保されていない場合もあることから、偽・誤情報に限らず申告理由についての集計を行っていません。</p> <p>（10）算出困難（違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため）</p> <p>（11）算出困難（違反申告での「明らかに事実と異なり、社会的に混乱を招く恐れのある投稿」の件数が取得できないため）</p> <p>（12）算出困難（違反申告が非返信フォームであり、お問い合わせフォームが窓口となるため）</p> <p>（13）算出困難（お問い合わせ窓口に来た違反報告・削除反論案件の中身を一件ずつ確認していかなければならないため）</p> <p>（14）0件</p> <p>（18）0件</p> <p>（15）～（17）（18）（20）該当なし</p>

<p>Q 6 - 2</p> <p>Q 6 - 1 で御回答頂いた数字について、いわゆる透明性レポート等の形で公開している場合は、その方法（※）と頻度（例えば、年1回など）を御教示下さい。</p> <p>※ オンライン上で公開している場合はURL を付記下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>・メディア透明性レポートにて「3.偽情報対策の取組」を紹介していますが、偽情報であることを理由とするモデレーション件数は公表しておりません。</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <p>・メディア透明性レポートにて「3.偽情報対策の取組」を紹介していますが、偽情報であることを理由とするモデレーション件数は公表しておりません。</p>
<p>7 令和6年能登半島地震関連の偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について</p>	<p>Yahoo!ニュースコメント欄</p>	<p>Yahoo!知恵袋</p>
<p>Q 7 - 1</p> <p>2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組状況を御教示下さい。特に、現時点までにモデレーション等を実施した主なコンテンツとモデレーション等の方法別（Q 3 - 1（3）参照）件数を御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】 ※数値は精査中のものです (1/31 15:00時点) 削除件数：1/1～1/31 15時まで 累計4件 アカウント停止等件数：1/1～1/31 15時まで 累計0件</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】 ※数値は精査中のものです (1/31 15:00時点) 削除件数：1/1～1/31 15時まで 累計914件（質問：449件、回答：465件 ※削除理由：不謹慎など914件） ※地震関連の投稿を起因とするものに限らず、アカウント停止の状況についてはメディア透明性レポートをご覧ください。</p>
<p>Q 7 - 2</p> <p>令和6年能登半島地震に関連するコンテンツのうち、その内容が誤りであるとするファクトチェック機関のファクトチェック記事が存在するコンテンツについて、Q 7 - 1 で御回答頂いた件数に含まれる場合は、当該件数を御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>該当はありません。</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <p>該当はありません。</p>
<p>Q 7 - 3</p> <p>令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応として、上記4及び5にて御回答頂いた頂いた回答と比べて体制を強化した場合は、強化した内容を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、対行政機関窓口の設置、モデレーション等を担当する人員の増強など。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>CSでの施策として、震災関連ニュースのパトロール（モニタリング）を強化 Yahoo!ニュース コメント欄について、注意喚起文言を掲載 ----- 【文言】 能登半島地震に関する誤情報に注意を 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください</p> <p>【リンク先】 能登地震・災害特設ページ内、誤情報の欄 https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a#a_fakenews</p> <p>【期間】 1/7(日)～ -----</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <p>CSでの施策として、震災関連のトピックのパトロール（モニタリング）を強化 知恵袋トップページに注意喚起文言を掲載（1/9～）。 https://chiebukuro.yahoo.co.jp/ ----- 【文言】 能登半島地震に関する誤情報にご注意を 2024年1月9日 1月1日に発生した能登半島地震に関し、不正確なうわさや情報に惑わされることのないよう、公共機関や報道機関等の情報を確認するなど十分注意をしてください。 能登半島地震 最新情報まとめ また、Yahoo!知恵袋では偽情報の拡散や詐欺等違法行為は禁止しています。 投稿時は改めて利用のルールをご確認いただき、禁止事項に該当する投稿は削除の対象となりますので、ご理解の上、Yahoo!知恵袋をご利用いただけますようお願いいたします。</p> <p>【リンク先】 能登地震・災害特設ページ https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a</p> <p>【期間】 1/9(火)～ -----</p>
<p>Q 7 - 4</p> <p>令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、他の事業者、ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体又は日本の行政機関（※）との間で情報共有等の連携を実施している場合は、その詳細を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、内閣府（防災担当）、警察庁など。</p>	<p>該当はありません。</p>	<p>該当はありません。</p>
<p>Q 7 - 5</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、今後（さらに）体制を強化する予定・余地があれば、強化する内容を御教示下さい。</p>	<p>地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。</p>	<p>地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。</p>
<p>Q 7 - 6</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <p>偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。</p>

8 レコメンドやモデレーション等に関する透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について	Yahoo!ニュースコメント欄	Yahoo!知恵袋
<p>Q 8 - 1</p> <p>対象偽・誤情報を含む対象サービス上で表示される日本語のコンテンツについて、アルゴリズムを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切投稿判定モデル・関連度モデル： https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ ・建設的コメント順位づけモデル： https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2019/pdf_dir/P7-33.pdf ・コメント多様化モデル： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/ <p>※なお、非公開で研究機関や研究者に対して開示を行っている実績はありません。</p>	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反投稿判定モデルの判定精度向上のための取組みを行っています。 メディア透明性レポート（2022年度版）p30： https://about.yahoo.co.jp/common/transparencyreport/
<p>Q 8 - 2</p> <p>Q 8 - 1 で御回答頂いたパラメータを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定していることについて、既に公開している規約等の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記して、該当箇所を抜粋下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大規模深層学習モデルによるYahoo!ニュース「不適切コメント」対策」（Yahoo! JAPAN Tech Blog）： https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ 	
<p>Q 8 - 3</p> <p>対象サービス上で表示される日本語のコンテンツ（広告を含みます）について、アルゴリズムを用いて表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>Yahoo!ニュースコメント欄として保有しているAIモデルはQ8-1で回答した3つがあります。アルゴリズム等の詳細につきましては、下記ページをご参照ください。</p> <p>（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適切投稿判定モデル・関連度モデル： https://techblog.yahoo.co.jp/entry/2021041930133238/ ・建設的コメント順位づけモデル： https://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2019/pdf_dir/P7-33.pdf ・コメント多様化モデル： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/ 	
<p>Q 8 - 4</p> <p>Q 8 - 3 で御回答頂いたパラメータを用いてコンテンツの表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定していることにつき、既に公開している規約等で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記し、該当箇所を抜粋下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <p>以下のページ上において公開しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コメント欄の「おすすめ順」で多様な意見が上位に表示されやすくなる機能の導入について」（オウンドメディア）： https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/comment_20230418.html ・「コメント欄においてより多様な意見が上位に表示されやすくなる独自AI「コメント多様化モデル」の導入を開始」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2023/04/18a/ 	
<p>Q 8 - 5</p> <p>Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組の一環として、特定の第三者（※1）に対して特定の目的（※2）で開示している場合、当該第三者の名称又は類型その他の詳細（※3）を御教示下さい。</p> <p>※1 例えば、秘密保持契約を締結した研究機関や研究者など。 ※2 例えば、透明性・アカウントビリティ確保状況に関する監視・研究目的など。 ※3 例えば、開示目的、開示に至った経緯など</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偽・誤情報のモデレーションを目的としたAIではありませんが、2020年から以下の取り組みを行っています。 「Yahoo!ニュース、不適切コメントへの対策として導入している深層学習を用いた自然言語処理モデル（AI）のAPIを無償提供開始」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2020/09/18a/ 	<p>【Yahoo!知恵袋】</p> <p>データを提供しているケースはありますが、モデル等を研究機関等に開示を行っているケースはありません。</p>
<p>Q 8 - 5 ⇒ 6</p> <p>Q 8 - 4 で既に開示しているか否かにかかわらず、Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、今後、特定の第三者に対して特定の目的で開示することの可否・継続性に関するお考えがあれば、お聞かせ下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュースコメント欄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偽・誤情報のモデレーションを目的としたAIではありませんが、2020年から以下の取り組みを行っています。 「Yahoo!ニュース、不適切コメントへの対策として導入している深層学習を用いた自然言語処理モデル（AI）のAPIを無償提供開始」（プレスリリース）： https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2020/09/18a/ 	

19 特に紹介したい取組について	Yahoo!ニュースコメント欄	Yahoo!知恵袋
<p>Q19-1</p> <p>「プラットフォームサービスに関する研究会」において2023年3月にとりまとめられた「偽情報対策に係る取組集 Ver.1.0」記載の貴社の取組事例について、更新すべき事項がございましたら御教示下さい。</p>		
<p>Q19-2</p> <p>以上御回答頂いたほか、偽・誤情報の流通・拡散への対策をはじめ、デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた貴社の取組として共有可能なものがございましたら、当該取組の詳細（※1）を御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 例えば、当該取組を実施するに至った背景・課題、当該取組による効果など。</p> <p>※2 この質問への御回答内容は、前記【御回答に当たっての留意事項】（4）のとおり、本検討会において「偽・誤情報対策に係る取組事例集（仮称）」としてとりまとめ、公開させて頂く予定です。</p>		

【ファイナンス掲示板/LINEオープンチャット】

6 偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について	ファイナンス掲示板	LINEオープンチャット
<p>Q 6 - 1</p> <p>2022年中及び2023年中それぞれに関する(※1) 次の20点)として把握している数字があれば、御教示下さい(※2)。</p> <p>※1 別の期間の数字のみ回答可能な場合は、期間を明示した上で当該数字を御教示下さい。</p> <p>※2 可能であれば、対象偽・誤情報の類型別(Q3-1(1)参照)、モデレーション等の方法別(同(3)参照)の数字も併せて御教示下さい。また、可能であれば、(9)～(12)については通報主体別(Q5-1(2)参照)、(18)・(19)については発信者(投稿者)の類型別の数字も併せて御教示下さい。</p> <p>(1) 対象偽・誤情報(※) についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>※ Q4-1のとおり、対象偽・誤情報は「日本国内において流通するもの」に限りますが、対象偽・誤情報に関する数字を把握していない場合で、何らかの推計値や、対象偽・誤情報に関する数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どのような数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(2) 上記(1)のうち、AIその他の機械的手段のみによって検知・対応した件数</p> <p>(3) 上記(1)のうち、AIその他の機械的手段と人間の手を組み合わせてモデレーション等を実施した(第三者通報への対応過程でAIその他の機械的手段を利用した場合を含む)件数</p> <p>(4) 上記(2)(3)のうち、AIその他の機械的手段による判断結果に誤りがあることが事後的に判明した(上記(3)において人間の手によって補正された場合を含む)件数</p> <p>(5) 上記(1)のうち、ファクトチェック機関の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(6) 上記(1)のうち、マスメディアの意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(7) 上記(1)のうち、上記(5)(6)以外の外部有識者・団体の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(8) 上記(5)～(7)のうち、ファクトチェック機関、マスメディアその他の外部有識者・団体の意見等に誤りがあることが事後的に判明した件数</p> <p>(9) 対象偽・誤情報に関する日本語による(※) 第三者通報の総数</p> <p>※ 日本語による第三者通報の件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい(推計でもかまいません)。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(10) 上記(9)の第三者通報を契機として対象偽・誤情報についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>(11) 上記(9)の第三者通報を受け付けてからモデレーション等を実施するまで(モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(12) 上記(9)のうち、モデレーション等の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあった件数</p> <p>(13) Q4-2の窓口へ対象偽・誤情報に関する発信者(投稿者)からの日本語による(※) 苦情・不服申立て件数</p> <p>※ 日本語による苦情・不服申立て件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい(推計でもかまいません)。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(14) Q4-2の窓口以外を通じた対象偽・誤情報に関する発信者(投稿者)からの日本語による苦情・不服申立ての件数</p> <p>(15) 上記(13)(14)のうち、当該苦情・不服申立てに基づき、問題となったモデレーション等を撤回した件数</p> <p>(16) 上記(13)(14)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(17) 上記(13)(14)のうち、Q4-3(7)の再審査要求があった件数</p> <p>(18) 上記(13)(14)のうち、Q4-3(8)の類型に該当する特定の発信者(投稿者)による苦情・不服申立ての件数</p> <p>(19) 上記(18)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(20) モデレーション等の有無・内容に関し、発信者(投稿者)、通報者との間で、訴訟・仲裁・調停など裁判所等の外部紛争解決機関が関与する手続に発展した件数</p>	<p>【ファイナンス掲示板】※数値は精査中のものです</p> <p>(1) 偽・誤情報のみを理由とした削除件数は0件</p> <p>(2) 該当なし(偽情報を検知するAIはなく、偽情報削除件数も0件のため)</p> <p>(3)～(8) (偽情報削除件数が0件であるため)</p> <p>(9) 現状、違反申告時の理由の選択肢として「明らかな偽情報」の項目がなく、件数を集計することが困難</p> <p>(10) (9)の理由から、抽出することはできません。</p> <p>(11) 違反報告受付から削除措置までの時間は概ね6時間以内</p> <p>※偽情報のみ切り出し不可のため申告理由問わない平均期間を回答</p> <p>(12) 違反報告はYahoo! JAPAN ID(以下YID)でのログインが不要で制限なく受け付けている。他方、不服申し立て等の問い合わせに関してはYIDのログインが必須のところ、違反報告申告者との照会を行っていないため同一人物からの改めてのお問合せかどうかについては算出ができない</p> <p>(13) 0件</p> <p>(14) 0件</p> <p>(15)～(17) (19) 該当なし</p> <p>(18) 0件</p> <p>(20) 企業から「風説の流布・虚偽の内容が掲示板に記載された」と公表されるケースはあるが、企業側から通知はないため件数は把握できない。</p>	<p>【LINEオープンチャット】※数値は精査中のものです</p> <p>(1) 2023/1月～12月合計21件</p> <p>(2) 無し</p> <p>(3) 合計:21件</p> <p>(4)～(8) 該当なし</p> <p>(9) サービスの通報機能において通報事由ごとの件数取得が困難であるため、対象の理由(偽・誤情報)に限った通報件数の算出が不可。</p> <p>(10) 合計:10件</p> <p>(11) 直近の対応としては平均2.9分程度で対応。</p> <p>※偽情報のみを切り出した算出は不可のため、全ての申告から削除までの時間で算出しています。</p> <p>(12)～(20) 該当なし</p>

<p>Q 6 - 2</p> <p>Q 6 - 1 で御回答頂いた数字について、いわゆる透明性レポート等の形で公開している場合は、その方法（※）と頻度（例えば、年1回など）を御教示下さい。</p> <p>※ オンライン上で公開している場合はURL を付記下さい。</p>		<p>【LINEオープンチャット】</p> <p>・透明性レポートについては以下のページで公開しています。ただし、現時点で2023年のデータは公開されていない、かつこちらのデータについてはオープンチャット単独ではなくLINE全サービスとしての数字になります。</p> <p>https://linecorp.com/ja/security/moderation/2022h1</p>
<p>7 令和6年能登半島地震関連の偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について</p>	<p>ファイナンス掲示板</p>	<p>LINEオープンチャット</p>
<p>Q 7 - 1</p> <p>2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組状況を御教示下さい。特に、現時点までにモデレーション等を実施した主なコンテンツとモデレーション等の方法別（Q 3 - 1（3）参照）件数を御教示下さい。</p>	<p>【ファイナンス掲示板】※数値は精査中のものです (1/31 15:00時点)</p> <p>削除件数：1/1～1/31 15時まで 累計7件 アカウント停止等件数：1/1～1/31 15時まで 累計0件</p>	<p>【LINEオープンチャット】※数値は精査中のものです (1/31 15:00時点)</p> <p>削除・非表示件数：1/1～1/31 15時まで 累計735件 アカウント停止等件数：1/1～1/31 15時まで 累計51件</p>
<p>Q 7 - 2</p> <p>令和6年能登半島地震に関連するコンテンツのうち、その内容が誤りであるとする事実チェック機関の事実チェック記事が存在するコンテンツについて、Q 7 - 1 で御回答頂いた件数に含まれる場合は、当該件数を御教示下さい。</p>	<p>【ファイナンス掲示板】 該当はありません。</p>	<p>【LINEオープンチャット】※数値は精査中のものです</p> <p>Q7 - 3の以下ご回答との関係で、57件投稿削除しております。</p> <p>能登半島地震発生以降、「この地震は人工的に引き起こされた人工地震である」といった情報が拡散されたが、これを虚偽として削除対象とする根拠として、JFCの日本事実チェックセンター（https://www.factcheckcenter.jp/）で明確に誤りとされていることを採用しました。</p>
<p>Q 7 - 3</p> <p>令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応として、上記4及び5にて御回答頂いた頂いた回答と比べて体制を強化した場合は、強化した内容を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、対行政機関窓口の設置、モデレーション等を担当する人員の増強など。</p>	<p>【ファイナンス掲示板】 CSでの施策として、震災関連トピックのパトロール（モニタリング）を強化 Yahoo!ファイナンスアプリ（iOS版・Android版）に注意喚起文言を掲載（1/9～） ----- 【文言】 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください。 また、掲示板では偽情報の拡散や詐欺等違法行為は禁止しています。 投稿時は改めてガイドラインをご確認いただき、重大なガイドライン違反を見かけた場合は違反報告をお願いいたします。</p> <p>【ガイドライン】 メニュー>ヘルプ>【掲示板】禁止行為、投稿に注意が必要な内容について（ボタン）能登半島地震 最新情報まとめ</p> <p>【リンク先】 能登地震・災害特設ページ https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a</p> <p>【期間】 1/9(火)～1/14(日) 23:59 -----</p> <p>Yahoo!ファイナンス掲示板（PC版TOP）に掲載の注意喚起を掲載しています 掲載場所URL https://finance.yahoo.co.jp/cm -----</p> <p>【文言】 能登半島地震に関する誤情報にご注意を 災害時は、不正確なうわさや情報に十分注意をしてください。「能登半島地震最新情報まとめ」 また、掲示板では偽情報の拡散や詐欺等違法行為は禁止しています。投稿時は改めてガイドラインをご確認いただき、重大なガイドライン違反を見かけた場合は違反報告をお願いいたします。 「【掲示板】禁止行為、投稿に注意が必要な内容について」</p> <p>【リンク先】 ①能登地震・災害特設ページ内、誤情報の欄 https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a#a_fakenews ②掲示板利用規約 https://support.yahoo-net.jp/PccFinance/s/article/H000011273</p> <p>【期間】 1/8(月)～1/31(水)18:00 -----</p>	<p>【LINEオープンチャット】 (1/9～)</p> <p>誤情報、詐欺に関する注意喚起ページを公開 https://openchat-jp.line.me/other/misinformation_during_disasters 全てのユーザーのオープンチャットのトークルームを開いた際に1回だけポップアップで告知 管理者向けの情報ポータルやオープンチャット上で拡散実施</p> <p>(1/12～)</p> <p>オープンチャットの総合トップページ経由の全体へのお知らせに注意喚起を掲載 https://notice2.line.me/SQUARE/web/document/notice?documentId=20231515&lang=ja</p> <p>能登半島地震発生以降、「この地震は人工的に引き起こされた人工地震である」といった情報が拡散されたが、これを虚偽として削除対象とする根拠として、日本事実チェックセンター（https://www.factcheckcenter.jp/）で明確に誤りとされていることを採用しました。</p> <p>また、このような虚偽情報に関するコンテンツの削除基準としましては、以下のように定めて対応を行なっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「拡散希望」「拡散してください」など明示的に虚偽情報を拡散させようとする投稿 ・明示的な拡散についての表現がなくても、その説を強く信じ込み、他者に対してもそれを信じさせようとする意図が感じられる投稿 ・「人工地震」というキーワードを一切投稿できないようにするといった対応も可能ではあるが、そうした情報に関する自由な議論を妨げ、表現の自由に反する恐れがあるため、キーワードを一律削除のような対応は行わない。

<p>Q 7 - 4</p> <p>令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、他の事業者、ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体又は日本の行政機関（※）との間で情報共有等の連携を実施している場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、内閣府（防災担当）、警察庁など。</p>	<p>該当はありません。</p>	<p>該当はありません。</p>
<p>Q 7 - 5</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、今後（さらに）体制を強化する予定・余地があれば、強化する内容を御教示下さい。</p>	<p>地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。</p>	<p>地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、引き続き、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。</p>
<p>Q 7 - 6</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。</p>	<p>【ファイナンス掲示板】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。</p>	<p>【LINEオープンチャット】 偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。</p>
<p>8 レコメンドやモデレーション等に関する透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について</p>	<p>ファイナンス掲示板</p>	<p>LINEオープンチャット</p>
<p>Q 8 - 1</p> <p>対象偽・誤情報を含む対象サービス上で表示される日本語のコンテンツについて、アルゴリズムを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【ファイナンス掲示板】 ・投稿削除、表示順位の決定に用いているAIはありません。 ・（削除について、一部、機械的なNGワードでの投稿制御はあり）広告やLINE登録を促す投稿については機械学習を用いたスコア付けを実施、違反投稿であれば人的チェックにより削除、外部公開しておりません。 ※非公開で研究機関や研究者に対して提供している実績はありません。</p>	<p>【LINEオープンチャット】 ・投稿削除、表示順位の決定などコンテンツモデレーションに用いられるAIは偽・誤情報には適用されていませんが、わけつ、不快画像の判定についてはAI画像フィルターが使われ、自動削除が行われており、その事実については対外的にも公開しております。 ※AI画像フィルターについては、以下リンクの「審査、パトロールの実施」中「パトロール・プラットフォーム」でもご説明しています。 https://www.lycorp.co.jp/ja/sustainability/esg/social/service-satisfaction/</p>
<p>Q 8 - 2</p> <p>Q 8 - 1 で御回答頂いたパラメータを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定していることについて、既に公開している規約等の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記して、該当箇所を抜粋下さい。</p>		
<p>Q 8 - 3</p> <p>対象サービス上で表示される日本語のコンテンツ（広告を含みます）について、アルゴリズムを用いて表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>		

<p>Q 8 - 4</p> <p>Q 8 - 3 で御回答頂いたパラメータを用いてコンテンツの表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定していることにつき、既に公開している規約等で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURL を付記し、該当箇所を抜粋下さい。</p>		
<p>Q 8 - 5</p> <p>Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組の一環として、特定の第三者（※1）に対して特定の目的（※2）で開示している場合、当該第三者の名称又は類型その他の詳細（※3）を御教示下さい。</p> <p>※1 例えば、秘密保持契約を締結した研究機関や研究者など。</p> <p>※2 例えば、透明性・アカウントビリティ確保状況に関する監視・研究目的など。</p> <p>※3 例えば、開示目的、開示に至った経緯など</p>		
<p>Q 8 - 5 ⇒ 6</p> <p>Q 8 - 4 で既に開示しているか否かにかかわらず、Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、今後、特定の第三者に対して特定の目的で開示することの可否・継続性に関するお考えがあれば、お聞かせ下さい。</p>		
<p>19 特に紹介したい取組について</p>	<p>ファイナンス掲示板</p>	<p>LINEオープンチャット</p>
<p>Q 19 - 1</p> <p>「プラットフォームサービスに関する研究会」において2023年3月にとりまとめられた「偽情報対策に係る取組集 Ver.1.0」記載の貴社の取組事例について、更新すべき事項がございましたら御教示下さい。</p>		
<p>Q 19 - 2</p> <p>以上御回答頂いたほか、偽・誤情報の流通・拡散への対策をはじめ、デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた貴社の取組として共有可能なものがございましたら、当該取組の詳細（※1）を御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 例えば、当該取組を実施するに至った背景・課題、当該取組による効果など。</p> <p>※2 この質問への御回答内容は、前記【御回答に当たっての留意事項】（4）のとおり、本検討会において「偽・誤情報対策に係る取組事例集（仮称）」としてとりまとめ、公開させて頂く予定です。</p>		

【LINE VOOM/Yahoo!検索】

6 偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について	LINE VOOM	Yahoo!検索
<p>Q 6-1</p> <p>2022年中及び2023年中それぞれに関する(※1) 次の20点)として把握している数字があれば、御教示下さい(※2)。</p> <p>※1 別の期間の数字のみ回答可能な場合は、期間を明示した上で当該数字を御教示下さい。</p> <p>※2 可能であれば、対象偽・誤情報の類型別(Q3-1(1)参照)、モデレーション等の方法別(同(3)参照)の数字も併せて御教示下さい。また、可能であれば、(9)～(12)については通報主体別(Q5-1(2)参照)、(18)・(19)については発信者(投稿者)の類型別の数字も併せて御教示下さい。</p> <p>(1) 対象偽・誤情報(※)についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>※ Q4-1のとおり、対象偽・誤情報は「日本国内において流通するもの」に限りますが、対象偽・誤情報に関する数字を把握していない場合で、何らかの推計値や、対象偽・誤情報に関する数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どのような数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(2) 上記(1)のうち、AIその他の機械的手段のみによって検知・対応した件数</p> <p>(3) 上記(1)のうち、AIその他の機械的手段と人間の手を組み合わせてモデレーション等を実施した(第三者通報への対応過程でAIその他の機械的手段を利用した場合を含む)件数</p> <p>(4) 上記(2)(3)のうち、AIその他の機械的手段による判断結果に誤りがあることが事後的に判明した(上記(3)において人間の手によって補正された場合を含む)件数</p> <p>(5) 上記(1)のうち、ファクトチェック機関の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(6) 上記(1)のうち、マスメディアの意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(7) 上記(1)のうち、上記(5)(6)以外の外部有識者・団体の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>(8) 上記(5)～(7)のうち、ファクトチェック機関、マスメディアその他の外部有識者・団体の意見等に誤りがあることが事後的に判明した件数</p> <p>(9) 対象偽・誤情報に関する日本語による(※) 第三者通報の総数 ※ 日本語による第三者通報の件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい(推計でもかまいません)。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(10) 上記(9)の第三者通報を契機として対象偽・誤情報についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>(11) 上記(9)の第三者通報を受け付けてからモデレーション等を実施するまで(モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(12) 上記(9)のうち、モデレーション等の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあった件数</p> <p>(13) Q4-2の窓口へ対象偽・誤情報に関する発信者(投稿者)からの日本語による(※) 苦情・不服申立て件数</p> <p>※ 日本語による苦情・不服申立て件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい(推計でもかまいません)。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>(14) Q4-2の窓口以外を通じた対象偽・誤情報に関する発信者(投稿者)からの日本語による苦情・不服申立ての件数</p> <p>(15) 上記(13)(14)のうち、当該苦情・不服申立てに基づき、問題となったモデレーション等を撤回した件数</p> <p>(16) 上記(13)(14)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(17) 上記(13)(14)のうち、Q4-3(7)の再審査要求があった件数</p> <p>(18) 上記(13)(14)のうち、Q4-3(8)の類型に該当する特定の発信者(投稿者)による苦情・不服申立ての件数</p> <p>(19) 上記(18)の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで(撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで)に要した期間の平均値</p> <p>(20) モデレーション等の有無・内容に関し、発信者(投稿者)、通報者との間で、訴訟・仲裁・調停など裁判所等の外部紛争解決機関が関与する手続に発展した件数</p>	<p>【LINE VOOM】※数値は精査中のものです</p> <p>(1) 2023/1月～12月合計5件程度</p> <p>(2) 0件</p> <p>偽情報等に関しては、現状、AIを活用したコンテンツモデレーションは導入していません。</p> <p>(3) 0件</p> <p>偽情報等に関しては、現状、AIを活用したコンテンツモデレーションは導入していません。</p> <p>(4) 偽情報等に関しては、現状、AIを活用したコンテンツモデレーションは導入していません。</p> <p>(5) 偽情報等に関しては、現状、AIを活用したコンテンツモデレーションは導入していません。</p> <p>(6)～(8) 該当なし</p> <p>(9) 2023年1月～12月までのお問い合わせ 偽情報・誤情報：14件 ↳そのうちユーザー間トラブル※：14件</p> <p>※下記のようなユーザー間で偽情報を誣うやりとり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEvroomの投稿でもう自分は消してますが自分の投稿で使った画像が使われてて嘘の情報が流れています ・悪口を叩かれデマも流されています。 ・当方の名前を虚偽のコメントに使われる ・アカウント自体がまず私のなりすましです <p>(10) 2023年1月～12月までのお問い合わせ 偽情報・誤情報：1件 ↳そのうちユーザー間トラブル※：1件</p> <p>※下記のようなユーザー間で偽情報を誣うやりとり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEvroomの投稿でもう自分は消してますが自分の投稿で使った画像が使われてて嘘の情報が流れています ・悪口を叩かれデマも流されています。 ・当方の名前を虚偽のコメントに使われる ・アカウント自体がまず私のなりすましです <p>(11) 10分程度</p> <p>※申告理由を問わずすべての申告の受付から削除時間の平均</p> <p>(12) 不服の申し立ては発生していない。</p> <p>もし、不服申し立ての問い合わせが発生した場合は、「いつ、どのような内容を投稿して、削除されたのか」など情報を伺ったうえで、履歴の確認のための調査依頼を上げる形になる想定。</p> <p>(13) 該当なし</p> <p>(14) 問い合わせ窓口以外の導線なし</p> <p>(15) 0件</p> <p>(16)～(20) 該当なし</p>	

<p>Q 6 - 2</p> <p>Q 6 - 1 で御回答頂いた数字について、いわゆる透明性レポート等の形で公開している場合は、その方法（※）と頻度（例えば、年 1 回など）を御教示下さい。</p> <p>※ オンライン上で公開している場合は URL を付記下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>・透明性レポートについては以下のページで公開しています。ただし、現時点で 2023 年のデータは公開されていない、かつこちらのデータについては LINE VOOM 単独ではなく LINE 全サービスとしての数字になります。</p> <p>https://linecorp.com/ja/security/moderation/2022h1</p>	
<p>7 令和 6 年能登半島地震関連の偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について</p>	<p>LINE VOOM</p>	<p>Yahoo!検索</p>
<p>Q 7 - 1</p> <p>2 0 2 4 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組状況を御教示下さい。特に、現時点までにモデレーション等を実施した主なコンテンツとモデレーション等の方法別（Q 3 - 1（3）参照）件数を御教示下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】 ※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点)</p> <p>削除・非表示件数：1/1以降の累計 161 件 アカウント停止等件数：1/1以降の累計 0 件</p>	
<p>Q 7 - 2</p> <p>令和 6 年能登半島地震に関連するコンテンツのうち、その内容が誤りであるとするファクトチェック機関のファクトチェック記事が存在するコンテンツについて、Q 7 - 1 で御回答頂いた件数に含まれる場合は、当該件数を御教示下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】 ※数値は精査中のものです (1/31 15:00 時点)</p> <p>161 件（完全にファクトチェック機関のファクトチェック結果にマッチしないものも含む）</p>	
<p>Q 7 - 3</p> <p>令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応として、上記 4 及び 5 にて御回答頂いた回答と比べて体制を強化した場合は、強化した内容を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、対行政機関窓口の設置、モデレーション等を担当する人員の増強など。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>人工地震と断定し流布するような投稿や募金を募る行為について、利用規約やガイドラインに照らして違反行為と認められた場合には、非表示とする措置と対応をすることとしました。</p>	
<p>Q 7 - 4</p> <p>令和 6 年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、他の事業者、ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体又は日本の行政機関（※）との間で情報共有等の連携を実施している場合は、その詳細を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、内閣府（防災担当）、警察庁など。</p>	<p>該当はありません。</p>	<p>該当はありません。</p>
<p>Q 7 - 5</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、今後（さらに）体制を強化する予定・余地があれば、強化する内容を御教示下さい。</p>	<p>地震その他の災害など、偽・誤情報の流通・拡散が想定されるような事態が発生した場合には、ユーザーへの注意喚起を実施するとともに、政府の公表情報に加え、信頼できるファクトチェック機関によるファクトチェック結果を活用するなどして、モニタリングの強化等を行います。</p>	
<p>Q 7 - 6</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>偽の被害情報や救助要請に関しては、一見して明らかな虚偽であるか信頼できる機関からの情報提供をいただかない限り、緊急時の限られた期間において現地の状況を把握することもできないプラットフォーム事業者がその真偽を判断することは困難であるという実態があります。</p>	

8 レコメンドやモデレーション等に関する透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について	LINE VOOM	Yahoo!検索
<p>Q 8 - 1</p> <p>対象偽・誤情報を含む対象サービス上で表示される日本語のコンテンツについて、アルゴリズムを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>公表しておりません。</p>	
<p>Q 8 - 2</p> <p>Q 8 - 1 で御回答頂いたパラメータを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定していることについて、既に公開している規約等の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記して、該当箇所を抜粋下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>公表しておりません。</p>	
<p>Q 8 - 3</p> <p>対象サービス上で表示される日本語のコンテンツ（広告を含みます）について、アルゴリズムを用いて表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>公表していません。</p>	<p>【Yahoo!検索】</p> <p>Yahoo!検索において、検索結果に表示される順は、ウェブページのテキスト、タイトル、説明文、関連リンク、ページの特徴などを分析に基づき、検索キーワードに対する関連性が高い順に表示しています。この順序はYahoo!検索が利用している検索エンジン用ロボット独自のデータやアルゴリズムに基づくもので、詳細は非公開としています。</p>
<p>Q 8 - 4</p> <p>Q 8 - 3 で御回答頂いたパラメータを用いてコンテンツの表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定していることにつき、既に公開している規約等で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURLを付記し、該当箇所を抜粋下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>公表しておりません。</p>	<p>【Yahoo!検索】</p> <p>Yahoo!検索ヘルプにおいて公開しています。 https://support.yahoo-net.jp/PccSearch/s/article/H000007974 ----- 検索結果に表示される順は、ウェブページのテキスト、タイトル、説明文、関連リンク、ページの特徴などを分析に基づき、検索キーワードに対する関連性が高い順に表示しています。この順序はYahoo!検索が利用している検索エンジン用ロボット独自のデータやアルゴリズムに基づくもので、詳細は非公開とさせていただきます。 なお、公平なサービスを提供するため、表示順を故意に変更するなどの操作は、有料・無料にかかわらず一切行っておりません。また、表示順そのほかの事項については、Yahoo!検索のシステムの変更などの理由で、予告なく変更される可能性があります。 -----</p>
<p>Q 8 - 5</p> <p>Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組の一環として、特定の第三者（※1）に対して特定の目的（※2）で開示している場合、当該第三者の名称又は類型その他の詳細（※3）を御教示下さい。 ※1 例えば、秘密保持契約を締結した研究機関や研究者など。 ※2 例えば、透明性・アカウントビリティ確保状況に関する監視・研究目的など。 ※3 例えば、開示目的、開示に至った経緯など</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>該当はありません。</p>	<p>【Yahoo!検索】</p> <p>該当はありません。</p>
<p>Q 8 - 5 ⇒ 6</p> <p>Q 8 - 4 で既に開示しているか否かにかかわらず、Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、今後、特定の第三者に対して特定の目的で開示することの可否・継続性に関するお考えがあれば、お聞かせ下さい。</p>	<p>【LINE VOOM】</p> <p>特にありません。</p>	<p>【Yahoo!検索】</p> <p>該当はありません。</p>

19 特に紹介したい取組について	LINE VOOM	Yahoo!検索
<p>Q19-1</p> <p>「プラットフォームサービスに関する研究会」において2023年3月にとりまとめられた「偽情報対策に係る取組集 Ver.1.0」記載の貴社の取組事例について、更新すべき事項がございましたら御教示下さい。</p>		
<p>Q19-2</p> <p>以上御回答頂いたほか、偽・誤情報の流通・拡散への対策をはじめ、デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた貴社の取組として共有可能なものがございましたら、当該取組の詳細（※1）を御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 例えば、当該取組を実施するに至った背景・課題、当該取組による効果など。</p> <p>※2 この質問への御回答内容は、前記【御回答に当たっての留意事項】（4）のとおり、本検討会において「偽・誤情報対策に係る取組事例集（仮称）」としてとりまとめ、公開させて頂く予定です。</p>		<p>【Yahoo!検索】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的混乱関係（災害等） 大規模な災害が発生した際などは、関連するワードで検索した際に、各自治体や省庁などが発信している情報をはじめ、信頼性が高い情報をまとめ、検索結果画面の上部に掲出する取組を行っている。 ・健康・医療関係（コロナ関係等） 医療に関する信頼性の高い情報の提供を行うため、特定のワード（例えば「新型コロナウイルス」関連の主要なワードや、各種がんなどの病名、医療用医薬品の名称、子育てや妊娠関連のワード等）で検索した際、公的機関の情報や専門家監修の情報等、信頼性が高い情報を まとめて、検索結果画面の上部に掲出する取組を行っている。同様にワクチンの情報を求めるようなワード（「ワクチン」「ワクチン反対」「ワクチン危険」等）においても、厚生労働省等と連携して、検索結果画面の上部で適切な案内や誤情報への注意喚起をするような施策を行っている。 ・全般・その他 「フェイクニュース」と検索した際に、概要や注意喚起を促す情報を掲出することで、不確かな情報に惑わされないような啓蒙につなげる取り組みを行っている。

【LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）/その他】

6 偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について	LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）	その他
<p>Q 6 - 1</p> <p>2022年中及び2023年中それぞれに関する（※1）次の20点）として把握している数字があれば、御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 別の期間の数字のみ回答可能な場合は、期間を明示した上で当該数字を御教示下さい。</p> <p>※2 可能であれば、対象偽・誤情報の類型別（Q 3 - 1（1）参照）、モデレーション等の方法別（同（3）参照）の数字も併せて御教示下さい。また、可能であれば、（9）～（12）については通報主体別（Q 5 - 1（2）参照）、（18）・（19）については発信者（投稿者）の類型別の数字も併せて御教示下さい。</p> <p>（1）対象偽・誤情報（※）についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>※ Q 4 - 1 のとおり、対象偽・誤情報は「日本国内において流通するもの」に限りますが、対象偽・誤情報に関する数字を把握していない場合で、何らかの推計値や、対象偽・誤情報に関する数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どのような数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（2）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段のみによって検知・対応した件数</p> <p>（3）上記（1）のうち、AIその他の機械的手段と人間の手を組み合わせてモデレーション等を実施した（第三者通報への対応過程でAIその他の機械的手段を利用した場合を含む）件数</p> <p>（4）上記（2）（3）のうち、AIその他の機械的手段による判断結果に誤りがあることが事後的に判明した（上記（3）において人間の手によって補正された場合を含む）件数</p> <p>（5）上記（1）のうち、ファクトチェック機関の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（6）上記（1）のうち、マスメディアの意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（7）上記（1）のうち、上記（5）（6）以外の外部有識者・団体の意見等を反映してモデレーション等を実施した件数</p> <p>（8）上記（5）～（7）のうち、ファクトチェック機関、マスメディアその他の外部有識者・団体の意見等に誤りがあることが事後的に判明した件数</p> <p>（9）対象偽・誤情報に関する日本語による（※）第三者通報の総数 ※ 日本語による第三者通報の件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい（推計でもかまいません）。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（10）上記（9）の第三者通報を契機として対象偽・誤情報についてモデレーション等を実施した件数</p> <p>（11）上記（9）の第三者通報を受け付けてからモデレーション等を実施するまで（モデレーション等を実施しない場合は実施しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（12）上記（9）のうち、モデレーション等の有無・内容に関し、通報者からの不服申立てや問合せがあった件数</p> <p>（13）Q 4 - 2 の窓口へ対象偽・誤情報に関する発信者（投稿者）からの日本語による（※）苦情・不服申立て件数 ※ 日本語による苦情・不服申立て件数を把握していない場合で、言語以外の基準により日本国内における同様の数字として把握している数字があるときは、当該基準を明示頂いた上で当該数字を御回答下さい（推計でもかまいません）。また、そのような数字も把握していない場合で、日本国内における数字を含むものと思われる別の数字を把握しているときは、どの範囲の数字であるか明示頂いた上で当該数字を御回答下さい。以下同じ。</p> <p>（14）Q 4 - 2 の窓口以外を通じた対象偽・誤情報に関する発信者（投稿者）からの日本語による苦情・不服申立ての件数</p> <p>（15）上記（13）（14）のうち、当該苦情・不服申立てに基づき、問題となったモデレーション等を撤回した件数</p> <p>（16）上記（13）（14）の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで（撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（17）上記（13）（14）のうち、Q 4 - 3（7）の再審査要求があった件数</p> <p>（18）上記（13）（14）のうち、Q 4 - 3（8）の類型に該当する特定の発信者（投稿者）による苦情・不服申立ての件数</p> <p>（19）上記（18）の苦情・不服申立てを受け付けてから、問題となったモデレーション等を撤回するまで（撤回しない場合は撤回しない旨決定するまで）に要した期間の平均値</p> <p>（20）モデレーション等の有無・内容に関し、発信者（投稿者）、通報者との間で、訴訟・仲裁・調停など裁判所等の外部紛争解決機関が関与する手続に発展した件数</p>		

<p>Q 6 - 2</p> <p>Q 6 - 1 で御回答頂いた数字について、いわゆる透明性レポート等の形で公開している場合は、その方法（※）と頻度（例えば、年1回など）を御教示下さい。</p> <p>※ オンライン上で公開している場合はURL を付記下さい。</p>		
<p>7 令和6年能登半島地震関連の偽・誤情報の流通・拡散への対応状況について</p>	<p>LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）</p>	<p>その他</p>
<p>Q 7 - 1</p> <p>2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散に対する取組状況を御教示下さい。特に、現時点までにモデレーション等を実施した主なコンテンツとモデレーション等の方法別（Q 3 - 1（3）参照）件数を御教示下さい。</p>		
<p>Q 7 - 2</p> <p>令和6年能登半島地震に関連するコンテンツのうち、その内容が誤りであるとするファクトチェック機関のファクトチェック記事が存在するコンテンツについて、Q 7 - 1 で御回答頂いた件数に含まれる場合は、当該件数を御教示下さい。</p>		
<p>Q 7 - 3</p> <p>令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応として、上記4及び5にて御回答頂いた頂いた回答と比べて体制を強化した場合は、強化した内容を御教示下さい。</p> <p>※ 例えば、対行政機関窓口の設置、モデレーション等を担当する人員の増強など。</p>	<p>【LINE NEWS】</p> <p>「令和6年能登半島地震 最新情報まとめ」のページを作成し、「SNSでのデマや詐欺にご注意」の項目で注意喚起を行いました。</p> <p>https://news.line.me/detail/linenews/n4v8bonw0ppc</p> <p>【トピックスサービス等】</p> <p>SNSの偽情報に対しては、警鐘を鳴らすトピックスや図解を掲載しました。</p> <p>例えば、被災者を装ったものや避難に関する偽情報、偽の救助要請など、さまざまな偽情報に関して注意を呼び掛けるトピックスや、騙されないようにするためのチェックポイントなどを記載した図解などを掲載しました。図解は、総務省や東京都のコンテンツなどを引用して制作しています。</p> <p>※補足：図解は総務省や東京都の他、青森県、ソフトバンクのコンテンツも引用しています。</p> <p>・発生直後から「能登半島地震 最新情報まとめ」の特設ページを設置し、その中で「デマ・誤情報に注意」のコンテンツを用意した。その中で総務省のフェイクニュース啓発のサイトヘリンクを設置</p> <p>「能登半島地震 最新情報まとめ」サイト</p> <p>URL:https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a</p> <p>・地震関連のデマについて打ち消しのトピックスを作成</p> <p>能登地震 虚偽情報の拡散に注意(1/2)</p> <p>「息子挟まれた」SNSに虚偽投稿(1/2)</p> <p>迫る72時間 デマ拡散「命関わる」(1/4)</p> <p>偽の救助要請 閲覧数稼ぐ狙いか(1/5)</p> <p>被災者装いデマ投稿 法的問題は(1/5)</p> <p>2次避難の偽情報 首相が注意喚起(1/13)</p> <p>災害デマ拡散 背景にインプ稼ぎも(1/19)</p> <p>地震巡る偽情報判別へ 開発支援 (1/24)</p> <p>・2/1に「災害時の情報との向き合い方」の特設ページを公開しました</p> <p>「災害時の情報との向き合い方」サイトURL： https://news.yahoo.co.jp/pages/20240131</p> <p>【Yahoo!ニュース（本体）】</p> <p>Yahoo!ニュース（天気災害）において、総務省・東京都防災ホームページ上の情報をもとに災害時・SNSの情報に騙されないために必要な事項についてX（旧Twitter）上にて注意喚起を行っています。</p> <p>【Yahoo!ニュース エキスパート】</p>	

	<p>・震災発生直後から、専門家やジャーナリストによる偽・誤情報への注意喚起、啓蒙の記事が公開されました。</p> <p>例) X課金時代に初めて体験する大地震。閲覧数目当てのデマに注意 (1/1 公開)</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c2bcd4dc1bb73ebd21795ee28915ab5346e40f 能登半島地震 決して許してはいけない災害便乗の悪質商法 どんな備えをしておくべきか (1/5 公開)</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/bae3d7dc043ba3236a3028c2c05f810c8b4c5bb6</p> <p>・また、偽情報対策に限りませんが、専門家による執筆記事を、わかりやすい図解とともに上記災害まとめページで紹介しました。</p> <p>例) 台風・浸水時に役立つ携帯トイレの使い方</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6a9eedb99b60e892af957d1b12dde93e49efb228X課金時代に初めて体験する大地震。閲覧数目当てのデマに注意 (1/1 21:22公開 いち早くXのデマ投稿に対して注意喚起を行いました)</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/c2bcd4dc1bb73ebd21795ee28915ab5346e40f 能登半島地震 決して許してはいけない災害便乗の悪質商法 どんな備えをしておくべきか (1/5 専門家によって災害時の詐欺情報等をまとめた記事)</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/bae3d7dc043ba3236a3028c2c05f810c8b4c5bb6</p> <p>・偽情報対策に限らないが、専門家による執筆記事を、わかりやすい図解とともに上記災害まとめページで紹介しました。</p> <p>例) 台風・浸水時に役立つ携帯トイレの使い方</p> <p>https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/6a9eedb99b60e892af957d1b12dde93e49efb228</p> <p>参考) Yahoo!ニュース エキスパートについて https://support.yahoo-net.jp/ScNews/s/article/H000011258</p> <p>8月1日に「Yahoo!ニュース エキスパート」が誕生します (※2023年8月リニューアル)。 https://news.yahoo.co.jp/newshack/information/ynews_expert_info.html >クリエイター」のほか、Yahoo!ニュース 個人 (以下、「ニュース個人」) の書き手である「オーサー」「コメンテーター」総勢約2600名が「Yahoo!ニュース エキスパート」に参加。それぞれの強みをかけあわせて強化することで、各分野のエキスパートたちが集う国内最大級のプラットフォームとして発信力を高めていきます。</p>	
<p>Q 7 - 4</p> <p>令和6年能登半島地震に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、他の事業者、ファクトチェック機関その他のファクトチェック関連団体又は日本の行政機関 (※) との間で情報共有等の連携を実施している場合は、その詳細を御教示下さい。 ※ 例えば、内閣府 (防災担当)、警察庁など。</p>	<p>該当はありません。</p>	<p>該当はありません。</p>
<p>Q 7 - 5</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に関し、今後 (さらに) 体制を強化する予定・余地があれば、強化する内容を御教示下さい。</p>	<p>【Yahoo!ニュース (本体)】</p> <p>今回に限らず、SNSの偽情報に対して、Yahoo!ニュース トピックス等で都度、偽情報の打ち消しや正しい情報の伝達、なぜこういう偽情報が出回るのか、注意点や対策、また被害者の声などの掲載を通して、偽情報対応にあたっています。引き続き、あらゆる機会を捉えてユーザーに対し日ごろから警鐘を鳴らすなど、啓蒙啓発やユーザーのリテラシー向上に向けた取り組みを行ってまいります。また、「信頼される情報空間」のあり方を検討するため、有識者からご意見を伺いながら、その論点を自社オウンドメディア「newsHACK」で公開しています。</p> <p>参考) 「情報的健康」提唱者にYahoo!ニュースはどう映っているのか https://news.yahoo.co.jp/newshack/media_watch/news_informationhealth.html</p>	
<p>Q 7 - 6</p> <p>地震その他の災害に関連する偽・誤情報の流通・拡散への対応に際し、支障となっているもの・ことがございましたら、詳細御教示下さい。</p>		

8 レコメンドやモデレーション等に関する透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組について	LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）	その他
<p>Q 8 - 1</p> <p>対象偽・誤情報を含む対象サービス上で表示される日本語のコンテンツについて、アルゴリズムを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>		
<p>Q 8 - 2</p> <p>Q 8 - 1 で御回答頂いたパラメータを用いてモデレーション等の要否・内容を自動的に決定していることについて、既に公開している規約等の中で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURL を付記して、該当箇所を抜粋下さい。</p>		
<p>Q 8 - 3</p> <p>対象サービス上で表示される日本語のコンテンツ（広告を含みます）について、アルゴリズムを用いて表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定している場合、当該決定に当たって用いられる主なパラメータ及び当該決定の過程（当該パラメータが当該決定にどのように寄与しているのかなど）を御教示下さい。</p>	<p>【LINE NEWS】</p> <p>ユーザーから許諾を得た上で提供された情報をもとに、そのユーザーが「興味があると推測される情報」「そのユーザーにマッチすると思われるコンテンツ」をAIが導き出し、自動で記事を選定・掲出しています。「ユーザーごとにあった情報」を掲出することで、大衆性の強い情報(センセーショナルな情報、ゴシップ記事など)だけでなく、ニッチな情報や専門性の高い情報も、様々な消費者に提供する仕組みを導入しています。</p>	
<p>Q 8 - 4</p> <p>Q 8 - 3 で御回答頂いたパラメータを用いてコンテンツの表示先や表示順位等のレコメンドの要否・内容を自動的に決定していることにつき、既に公開している規約等で説明している場合は、当該規約等のタイトル及びURL を付記し、該当箇所を抜粋下さい。</p>	<p>【LINE NEWS】</p> <p>・LINE NEWSのトップ面は1億通り、AIで実現した「ニュースの個人化」 https://note.com/linenews/n/n6f01e4d81ccb</p> <p>【Yahoo!ニュース（本体）】</p> <p>・Yahoo!ニュース 運営方針（コンテンツと掲載面>2. タイムライン） https://news.yahoo.co.jp/info/news-operation-policy#section2-2</p>	
<p>Q 8 - 5</p> <p>Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、透明性・アカウントビリティ確保に向けた取組の一環として、特定の第三者（※1）に対して特定の目的（※2）で開示している場合、当該第三者の名称又は類型その他の詳細（※3）を御教示下さい。</p> <p>※1 例えば、秘密保持契約を締結した研究機関や研究者など。 ※2 例えば、透明性・アカウントビリティ確保状況に関する監視・研究目的など。 ※3 例えば、開示目的、開示に至った経緯など</p>	<p>【LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）】</p> <p>該当はありません。</p>	
<p>Q 8 - 5 → 6</p> <p>Q 8 - 4 で既に開示しているか否かにかかわらず、Q 8 - 1 及び8 - 3 のアルゴリズムについて、今後、特定の第三者に対して特定の目的で開示することの可否・継続性に関するお考えがあれば、お聞かせ下さい。</p>	<p>【LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）】</p> <p>特にありません。</p>	

19 特に紹介したい取組について	LINE NEWS・Yahoo!ニュース（本体）	その他
<p>Q19-1</p> <p>「プラットフォームサービスに関する研究会」において2023年3月にとりまとめられた「偽情報対策に係る取組集 Ver.1.0」記載の貴社の取組事例について、更新すべき事項がございましたら御教示下さい。</p>		<p>【災害マップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バトロールチームが投稿全件を目視確認しています。 ・不適切な投稿を防止するため、キーワードによる機械的な投稿制限を実施しています。 ・投稿できるユーザーは、アプリの位置情報を活用し、被災地に現在地情報があるユーザーだけに限定しています。一部webからも投稿できますが、都度位置確認モジュールを出すなど、被災地以外からのイタズラ投稿や偽情報が投稿されない工夫をしています。 ・画像の真偽判定は、パートナーのSpectee社が実施しています。Xに投稿された、位置情報がついていない写真をAIが解析して位置情報を特定します。最終的にはSpectee社で人による目視チェックも行います。 <p>参考)</p> <p>「刻々と変化する災害状況をリアルタイムに届ける「災害マップ」」（コーポレートブログ 2022年6月）： https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20220615/saigaimap.html</p>
<p>Q19-2</p> <p>以上御回答頂いたほか、偽・誤情報の流通・拡散への対策をはじめ、デジタル空間における情報流通の健全性確保に向けた貴社の取組として共有可能なものがございましたら、当該取組の詳細（※1）を御教示下さい（※2）。</p> <p>※1 例えば、当該取組を実施するに至った背景・課題、当該取組による効果など。</p> <p>※2 この質問への御回答内容は、前記【御回答に当たっての留意事項】（4）のとおり、本検討会において「偽・誤情報対策に係る取組事例集（仮称）」としてとりまとめ、公開させて頂く予定です。</p>	<p>【LINE NEWS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載ポリシーを定めて公表し、メディアプラットフォームとしての信頼性の確保に努めています。 掲載ポリシーURL：https://news.line.me/publishpolicy/ ・誤報であると報道や注意喚起がされている場合には、その旨を可能な範囲で目立つ場所に掲載し、誤報による影響を最小限にできるよう編成しています。（たとえば、ロシア・ウクライナ関連のフェイクニュースや偽情報への注意喚起やファクトチェック結果（ファクトチェック・ナビ）を掲載しています。） ・「フェイクニュースや誤情報への注意喚起」のブロックを設け、信頼できる情報発信者として選定した公的機関やNHKをはじめとするサイトなど、ユーザーが一旦立ち止まって考えられる情報を提示しています。 ・ユーザーの目に留まりやすい場所において、信頼できる情報を分かりやすく提示するため、以下の取り組みを行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ①公共性・公益性の高い情報をユーザーの目に入りやすい位置に優先的に配置しています。 ②社会課題や分かりにくい時事ネタを分かりやすく解説する動画コンテンツ（NEWS グラフィティ）を無償提供しています。 ③ウクライナ情勢に関する記事に、フェイクニュースや誤情報への注意喚起のコーナーを設置し、信頼できる機関やサイトの情報を紹介したり、ファクトチェック団体の活動への導線を設けました。 ④新型コロナウイルス関係の最新状況まとめサイトを設置し、速報や国内の感染状況一覧、国内の感染者数推移、世界の状況等の情報を記載しました。 <p>【Yahoo!ニュース（本体）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Yahoo!ニュースでは、偽・誤情報の流通・拡散への対策として、信頼できる情報提供元の媒体社と契約し、媒体社にお守りいただく記事入稿ガイドラインを定めているほか、適宜、偽・誤情報に関する情報交換等を実施しています。 ・有事や災害、パンデミックなどの偽・誤情報が発生しやすいタイミングには、ファクト情報の伝達・支援、啓蒙啓発・リテラシー向上施策に積極的に取り組んでいます。 <p>ファクト情報の伝達・支援としては、公的機関等による正しい情報を含む、情報のまとめページを制作し、サービス上の目立つ場所に掲出しています。そのほか、偽・誤情報等の打ち消し・注意喚起記事を、最も目立つ場所であるYahoo! ニューストピックスへ積極的に掲載したり、コメント欄や特設サイトなどにおいて、専門家による解説・フォローアップを行う等しています。</p> <p>参考)</p> <p>「能登半島地震 最新情報まとめ」サイトURL： https://news.yahoo.co.jp/pages/20230101a</p> <p>「災害時の情報との向き合い方」サイトURL： https://news.yahoo.co.jp/pages/20240131</p> <p>能登半島地震に関する打ち消しトピックスの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 能登地震 虚偽情報の拡散に注意(1/2) 「息子挟まれた」SNSに虚偽投稿(1/2) 迫る72時間 デマ拡散「命関わる」(1/4) 偽の救助要請 閲覧数稼ぐ狙いか(1/5) 被災者装いデマ投稿 法的問題は(1/5) 2次避難の偽情報 首相が注意喚起(1/13) 災害デマ拡散 背景にインプ稼ぎも(1/19) 地震巡る偽情報判別へ 開発支援 (1/24) <p>また、ファクトチェック・イニシアティブ(FII)や日本ファクトチェックセンター(JFC)の活動に賛同し、資金面での支援に加え、コンテンツ面での連携(特設サイトへのリンク、ファクトチェックコンテンツのYahoo!ニュースへの配信など)を行っています。</p> <p>啓蒙啓発・リテラシー向上施策としては、有識者やメディアと連携して、フェイクニュース対策に関する啓蒙啓発コンテンツ制作を行うほか、総務省等の取り組みにも協力してユーザーに対する普及啓発に活用しています。</p>	